

進路指導部だより

令和8年9月4日

都立小金井特別支援学校

校長 石田 節恵

進路指導部 長南寿寿江

今月号では、7月下旬に実施いたしました「保護者向け福祉事業所見学会」及び「保護者向け進路研修会」について、御報告いたします。

募集に際しましては、多くの皆様からお申し込みをいただき、誠にありがとうございました。本号では、参加された保護者の皆様から寄せられた感想を掲載しております。お子様の将来の生活や進路について考える際の一助として、御活用いただければ幸いです。

【保護者向け事業所見学会】

★小金井市

(社福)雲柱社 小金井生活実習所

生活介護、就労継続支援 B 型

○参加者からの感想(抜粋)○

- ・生活介護の施設を見学するのは初めてでしたがイメージが湧きました
- ・やはりいかに自力で行けるように公共機関や自転車を覚えさせないといけないと思いました。B型事業所は衛生面もとても重要だと感じました。自分で行って見て聞いて感じてみないとわからない事もたくさんあるので、今回参加させていただいて良かったです。

(社福)小金井さくら会 フラワー工房さくら

就労継続支援 B 型、

○参加者からの感想(抜粋)○

- ・色々作業しやすいように工夫されていて、利用者の方が落ち着いて作業されていたのが印象的でした。
- ・とても落ち着いた雰囲気で作業されているなと思いました。丁寧に色々ご説明していただきありがとうございます。クッキーもとても美味しくて、また買いたいと思います。

★武蔵野市

(NPO)ゆうあいセンター ゆうあい製作所

スマイルステップ(B型)

みどり武蔵野(生活介護)

○参加者からの感想(抜粋)○

- ・生活介護とB型作業所が隣接していて地続きのようっていて、雰囲気や過ごし方に違いがあることがわかり、目指す方向性についてとても参考になりました。
- ・初めての事業所見学ですべて新鮮でしたが、B型と介護の雰囲気の違いがよくわかりました。

(社福) 武蔵野

ワークセンターけやき(B型)

大地、ふれあい、山びこ(生活介護)

武蔵野福祉作業所、ワークセンターりぷる(B型)

○参加者からの感想(抜粋)○

- ・子供の特性から、山びこさんしかお願いできる事業所がないのではないかと考えていましたが、大地さんも見学できて、もしかしたら実習をお願いすることができるのではないかと考えることができました。

★小平市

(社福) 小平晴風会 ひまわりばたけ

生活介護

○参加者からの感想(抜粋)○

- ・施設の雰囲気も明るく、開放感もあり、利用者の個々への対応と職員の柔軟性に富んだ対応も良く、とても素敵な事業所だと感じました。
- ・施設長とお話する機会あり、活動等も第一に利用者目線で取り組まれているのにととても惹かれました。早いうちに見学できて良かったです。

(社福)ときわ会 あさやけ鷹の台作業所

就労継続支援 B 型、

○参加者からの感想(抜粋)○

- ・グループの利用者に対する考え方や、通所には様々なスタイルがあること(例えば週5の人もしれば月1~2回の人もいて、午前だけの人、午後だけの人、親送迎の人、グループホームのこと、他の事業所のことなどについても教えていただき、非常に勉強になりました。

NEC フレンドリースタフ株式会社府中事業所

特例子会社 清掃・事務補助事業

○参加者からの感想(抜粋)○

- ・企業見学は初めてだったので、また NEC ということもあり、色々と圧倒されましたが、子どもが働くにはどうかな、と想像しながら見学しました。とても良い機会でした。将来にむけてのイメージを持つことができました。
- ・大きな会社で、きちんとしているんだろうなと感じましたが、自分で通い、7、5時間働くというハードルを高く感じました。今の時点では難しいかなあと感じる事が多かったです。ただ、選択肢として見ておいてよかったなとも思っています。障がいをもった子供たちにもこのような未来があるのだと感動しました。

【保護者向け進路研修会】

7月22日(木)午後2時から午後3時まで、本校体育室において、社会福祉法人ウーノ 理事長、相談室こころ 管理者の田辺 広子 様を講師にお迎えし、「わが子の未来を安心して迎えるために」～卒業後の制度と生活のヒント～をテーマに、保護者向け進路研修会を開催いたしました。当日は、本校教職員も参加させていただきました。

社会福祉法人ウーノは、保谷市手をつなぐ親の会の有志により2009年に設立された「特定非営利活動法人ハンディキャップサポート ウーノの会」を引き継ぎ、2022年に「社会福祉法人ウーノ」として新たなスタートを切られました。

同法人では、3か所の就労継続支援B型事業所、2か所のグループホーム、相談支援事業所などを幅広く展開されています。法人の基本理念である「地域で障がいのある方が、自分の持っている力を最大限に発揮し、社会の一員として参加できる地域社会」の実現に向け、日々取り組まれています。

田辺様からは、相談支援事業所の管理者のお立場から、高等部卒業後に利用できる福祉サービスや、働く場・生活する場・お金に関することなど、幅広い内容についてお話しいただきました。また、制度は今後変わっていく可能性があるものの、お子様の将来に向けて早い時期から情報を集め、準備を進めていくことの大切さについてもお話しいただきました。

猛暑の中、多くの保護者の皆様に御参加いただき、誠にありがとうございました。お子様の卒業後の生活や進路について考える有意義な時間となりました。御都合により参加が難しかった方も、Classiで配信いたしました研修会資料をぜひご覧ください。今後も、保護者の皆様とともに、お子様の将来について考える機会を大切にしていまいります。

○参加者からの感想(抜粋)○

- ・息子が小学部のうちにこういった知識を一通り得られたのは大変ありがたいです。「よく聞いたことはあるけど実は意味がわかっていない」という用語をたくさん学べました。
- ・高等部卒業後の進路や、親亡き後の具体的な備えや、金銭事情を細かく教えていただき、非常に参考になりました。
- ・法改正で状況が年々変わっていることを伺い、毎年一度は進路のことに向き合い、調べたり仲間と情報共有したりしようと思いました。
- ・グループホームのお金が本当に年金だけでも賄えるとか、親が突然の事故で亡くなった場合に子供への遺産相続で法定後見人をつけるよう勧められたり、子供の通帳に後見人の名前が載ったりなど、具体的なかつ普段生活している上で気付かないことが参考になりました。
- ・成年後見人制度について、より詳細な話を聞いてみたいなと思いました。